

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成25年11月14日(2013.11.14)

【公表番号】特表2013-508805(P2013-508805A)

【公表日】平成25年3月7日(2013.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-012

【出願番号】特願2012-534153(P2012-534153)

【国際特許分類】

G 06 F 13/00 (2006.01)

G 06 F 17/30 (2006.01)

G 06 F 21/31 (2013.01)

【F I】

G 06 F 13/00 5 4 0 R

G 06 F 17/30 1 1 0 C

G 06 F 17/30 1 2 0 A

G 06 F 17/30 2 4 0 A

G 06 F 21/20 1 3 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月27日(2013.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ウェブサイト上でユーザデータを更新するための方法であつて、  
クライアントを介して前記ウェブサイトにアクセスしているユーザを認証し、  
前記ユーザの操作挙動が第1の事前設定条件を満たすか否かを判定し、  
前記第1の事前設定条件が満たされる場合に、ユーザ識別子(I D)を含むユーザ識別情報を取り得し、

前記ユーザI Dに対応する格納されたユーザプロパティが第2の事前設定条件を満たすか否かを判定し、

前記第2の事前設定条件が満たされる場合に、前記ユーザの指定されたサービス関連データを更新すること、  
を備える、方法。

【請求項2】

請求項1に記載の方法において、前記ユーザ識別情報の取得は、前記ユーザによってアクセスされたウェブページに指定されたタグを挿入し、ユーザ識別情報を取得して返すよう前記クライアントに命令すること、を含む、方法。

【請求項3】

請求項1に記載の方法において、前記ユーザ識別情報の取得は、前記クライアントへの応答メッセージに指定された識別子を挿入し、ユーザ識別情報を取得して返すよう前記クライアントに命令すること、を含む、方法。

【請求項4】

請求項1に記載の方法において、前記第1の事前設定条件は、前記ユーザがウェブページをブラウズするために費やした時間が、指定された閾値を超えたときに満たされる、方法。

**【請求項 5】**

請求項 1 に記載の方法において、前記第 1 の事前設定条件は、前記ユーザが前記ウェブサイトに最初に登録したときに満たされる、方法。

**【請求項 6】**

請求項 1 に記載の方法において、前記第 2 の事前設定条件は、前記ユーザ ID に対応する前記格納されたユーザプロパティ情報が空値であるときに満たされる、方法。

**【請求項 7】**

請求項 1 に記載の方法において、前記第 2 の事前設定条件は、前記ユーザ ID に対応する前記格納されたユーザプロパティ情報により、前記ユーザのサービス関連データの前回の更新の時刻と現在時刻との間の期間が事前設定された閾値を超えることが示唆されたときに満たされる、方法。

**【請求項 8】**

請求項 1 に記載の方法において、前記ユーザの前記指定されたサービス関連データの更新は、前記ユーザの前記サービス関連データを取得するために外部インターフェースを介して前記ユーザの前記操作挙動に対応するアプリケーションサーバを呼び出し、ウェブページ情報の形態で前記取得されたサービス関連データを前記ユーザに示すことを含む、方法。

**【請求項 9】**

請求項 1 に記載の方法において、前記指定されたサービス関連データは、推奨された連絡先情報を含む、方法。

**【請求項 10】**

ウェブサイトサーバシステムであって、

1 または複数のプロセッサであって、

クライアントを介して前記ウェブサイトにアクセスしているユーザを認証し、

前記ユーザの操作挙動が第 1 の事前設定条件を満たすか否かを判定し、

前記第 1 の事前設定条件が満たされる場合に、ユーザ識別子 (ID) を含むユーザ識別情報を取得し、

前記ユーザ ID に対応する格納されたユーザプロパティが第 2 の事前設定条件を満たすか否かを判定し、

前記第 2 の事前設定条件が満たされる場合に、前記ユーザの指定されたサービス関連データを更新するように構成されている 1 または複数のプロセッサと、

前記 1 または複数のプロセッサに接続され、前記プロセッサに命令を提供するよう構成されている 1 または複数のメモリと、  
を備える、システム。

**【請求項 11】**

請求項 10 に記載のシステムにおいて、前記ユーザ識別情報の取得は、前記ユーザによってアクセスされたウェブページに指定されたタグを挿入し、ユーザ識別情報を取得して返すよう前記クライアントに命令することを含む、システム。

**【請求項 12】**

請求項 10 に記載のシステムにおいて、前記ユーザ識別情報の取得は、前記クライアントへの応答メッセージに指定された識別子を挿入し、ユーザ識別情報を取得して返すよう前記クライアントに命令することを含む、システム。

**【請求項 13】**

請求項 10 に記載のシステムにおいて、前記第 1 の事前設定条件は、前記ユーザがウェブページをブラウズするために費やした時間が、指定された閾値を超えたときに満たされる、システム。

**【請求項 14】**

請求項 10 に記載のシステムにおいて、前記第 1 の事前設定条件は、前記ユーザが前記ウェブサイトに最初に登録したときに満たされる、システム。

**【請求項 15】**

請求項 10 に記載のシステムにおいて、前記第 2 の事前設定条件は、前記ユーザ ID に対応する前記格納されたユーザプロパティ情報が空値であるときに満たされる、システム。

【請求項 16】

請求項 10 に記載のシステムにおいて、前記第 2 の事前設定条件は、前記ユーザ ID に対応する前記格納されたユーザプロパティ情報が、前記ユーザのサービス関連データの前回の更新の時刻と現在時刻との間の期間が事前設定された閾値を超えることを示すときに満たされる、システム。

【請求項 17】

請求項 10 に記載のシステムにおいて、前記ユーザの前記指定されたサービス関連データの更新は、前記ユーザの前記サービス関連データを取得するために外部インターフェースを介して前記ユーザの前記操作挙動に対応するアプリケーションサーバを呼び出し、ウェブページ情報の形態で前記取得されたサービス関連データを前記ユーザに示すことを含む、システム。

【請求項 18】

請求項 10 に記載のシステムにおいて、前記指定されたサービス関連データは、推奨された連絡先情報を含む、システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0059】

上述の実施形態は、理解しやすいようにいくぶん詳しく説明されているが、本発明は、提供された詳細事項に限定されるものではない。本発明を実施する多くの代替方法が存在する。開示された実施形態は、例示であり、限定を意図するものではない。

適用例 1：ウェブサイト上でユーザデータを更新するための方法であって、クライアントを介して前記ウェブサイトにアクセスしているユーザを認証し、前記ユーザの操作挙動が第 1 の事前設定条件を満たすか否かを判定し、前記第 1 の事前設定条件が満たされる場合に、ユーザ識別子（ID）を含むユーザ識別情報を取得し、前記ユーザ ID に対応する格納されたユーザプロパティが第 2 の事前設定条件を満たすか否かを判定し、前記第 2 の事前設定条件が満たされる場合に、前記ユーザの指定されたサービス関連データを更新すること、を備える、方法。

適用例 2：適用例 1 に記載の方法において、前記ユーザ識別情報の取得は、前記ユーザによってアクセスされたウェブページに指定されたタグを挿入し、ユーザ識別情報を取得して返すよう前記クライアントに命令すること、を含む、方法。

適用例 3：適用例 1 に記載の方法において、前記ユーザ識別情報の取得は、前記クライアントへの応答メッセージに指定された識別子を挿入し、ユーザ識別情報を取得して返すよう前記クライアントデバイスに命令すること、を含む、方法。

適用例 4：適用例 1 に記載の方法において、前記第 1 の事前設定条件は、前記ユーザがウェブページをブラウズするために費やした時間が、指定された閾値を超えたときに満たされる、方法。

適用例 5：適用例 1 に記載の方法において、前記第 1 の事前設定条件は、前記ユーザが前記ウェブサイトに最初に登録したときに満たされる、方法。

適用例 6：適用例 1 に記載の方法において、前記第 2 の事前設定条件は、前記ユーザ ID に対応する前記格納されたユーザプロパティ情報が空値であるときに満たされる、方法。

適用例 7：適用例 1 に記載の方法において、前記第 2 の事前設定条件は、前記ユーザ ID に対応する前記格納されたユーザプロパティ情報により、前記ユーザのサービス関連データの前回の更新の時刻と現在時刻との間の期間が事前設定された閾値を超えることが示

唆されたときに満たされる、方法。

適用例 8：適用例 1 に記載の方法において、前記ユーザの前記指定されたサービス関連データの更新は、前記ユーザの前記サービス関連データを取得するために外部インターフェースを介して前記ユーザの前記操作挙動に対応するアプリケーションサーバを呼び出し、ウェブページ情報の形態で前記取得されたサービス関連データを前記ユーザに示すことを含む、方法。

適用例 9：適用例 1 に記載の方法において、前記指定されたサービス関連データは、推奨された連絡先情報を含む、方法。

適用例 10：ウェブサイトサーバシステムであって、1 または複数のプロセッサであって、クライアントを介して前記ウェブサイトにアクセスしているユーザを認証し、前記ユーザの操作挙動が第 1 の事前設定条件を満たすか否かを判定し、前記第 1 の事前設定条件が満たされる場合に、ユーザ識別子 (ID) を含むユーザ識別情報を取得し、前記ユーザ ID に対応する格納されたユーザプロパティが第 2 の事前設定条件を満たすか否かを判定し、前記第 2 の事前設定条件が満たされる場合に、前記ユーザの指定されたサービス関連データを更新するように構成されている 1 または複数のプロセッサと、

前記 1 または複数のプロセッサに接続され、前記プロセッサに命令を提供するよう構成されている 1 または複数のメモリと、を備える、システム。

適用例 11：適用例 10 に記載のシステムにおいて、前記ユーザ識別情報の取得は、前記ユーザによってアクセスされたウェブページに指定されたタグを挿入し、ユーザ識別情報を取得して返すよう前記クライアントに命令することを含む、システム。

適用例 12：適用例 10 に記載のシステムにおいて、前記ユーザ識別情報の取得は、前記クライアントへの応答メッセージに指定された識別子を挿入し、ユーザ識別情報を取得して返すよう前記クライアントデバイスに命令することを含む、システム。

適用例 13：適用例 10 に記載のシステムにおいて、前記第 1 の事前設定条件は、前記ユーザがウェブページをブラウズするために費やした時間が、指定された閾値を超えたときに満たされる、システム。

適用例 14：適用例 10 に記載のシステムにおいて、前記第 1 の事前設定条件は、前記ユーザが前記ウェブサイトに最初に登録したときに満たされる、システム。

適用例 15：適用例 10 に記載のシステムにおいて、前記第 2 の事前設定条件は、前記ユーザ ID に対応する前記格納されたユーザプロパティ情報が空値であるときに満たされる、システム。

適用例 16：適用例 10 に記載のシステムにおいて、前記第 2 の事前設定条件は、前記ユーザ ID に対応する前記格納されたユーザプロパティ情報が、前記ユーザのサービス関連データの前回の更新の時刻と現在時刻との間の期間が事前設定された閾値を超えることを示すときに満たされる、システム。

適用例 17：適用例 10 に記載のシステムにおいて、前記ユーザの前記指定されたサービス関連データの更新は、前記ユーザの前記サービス関連データを取得するために外部インターフェースを介して前記ユーザの前記操作挙動に対応するアプリケーションサーバを呼び出し、ウェブページ情報の形態で前記取得されたサービス関連データを前記ユーザに示すことを含む、システム。

適用例 18：適用例 10 に記載のシステムにおいて、前記指定されたサービス関連データは、推奨された連絡先情報を含む、システム。